

研究課題名	予定帝王切開術後痛における modified thoracoabdominal nerves block perichondrial approach (M-TAPA) の有用性の検討-後ろ向き観察研究
研究の意義・目的	本研究は、大阪公立大学が管理するデータベースに診療情報のデータを登録します。帝王切開は世界中で行われている一般的な腹部手術ですが、術後の不適切な鎮痛管理が回復を遅らせ、合併症を引き起こすだけでなく、初乳の遅れにつながり児への悪影響も報告されています。そのため、これまでに帝王切開術後鎮痛目的に様々な方法が試みられています。近年、周術期に行う末梢神経ブロックの一つとして報告されている MTAPA ブロックは超音波装置を使用することで簡便かつ安全に施行することができ、特に下腹部領域の鎮痛効果が強いことが知られています。帝王切開術後鎮痛手段として MTAPA ブロックの効果を検討した報告は無く、本研究でその有用性が証明できれば、今後のより良い周術期管理につながることを期待されます。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~2028 年 12 月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2022 年 8 月 1 日~2024 年 8 月 31 日の期間に大阪公立大学医学部附属病院において、予定帝王切開手術を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、併存疾患、心電図検査、血液検査、術後疼痛スケール、術後鎮痛薬使用量】
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名(提供元について)	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科麻酔科学のみで行います。
試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科麻酔科学のみで行います。 【研究責任者】辻川翔吾
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 麻酔科学 (担当者氏名) 辻川 翔吾 電話番号：(06) 6645-2186 メールアドレス：shogo.tsujikawa@omu.ac.jp